

# ★えんがる 議会だより



図書館まつり 紙コップけん玉作り

- 決算総額209億円の成果を検証…………… P 2～5
- 平成24年第4回町議会(定例会)…………… P 6～7
- 意見書、所管事務調査報告…………… P 8～12
- 町政を質す!! 一般質問…………… P 13～17
- 議会アンケートについて…………… P 18～19

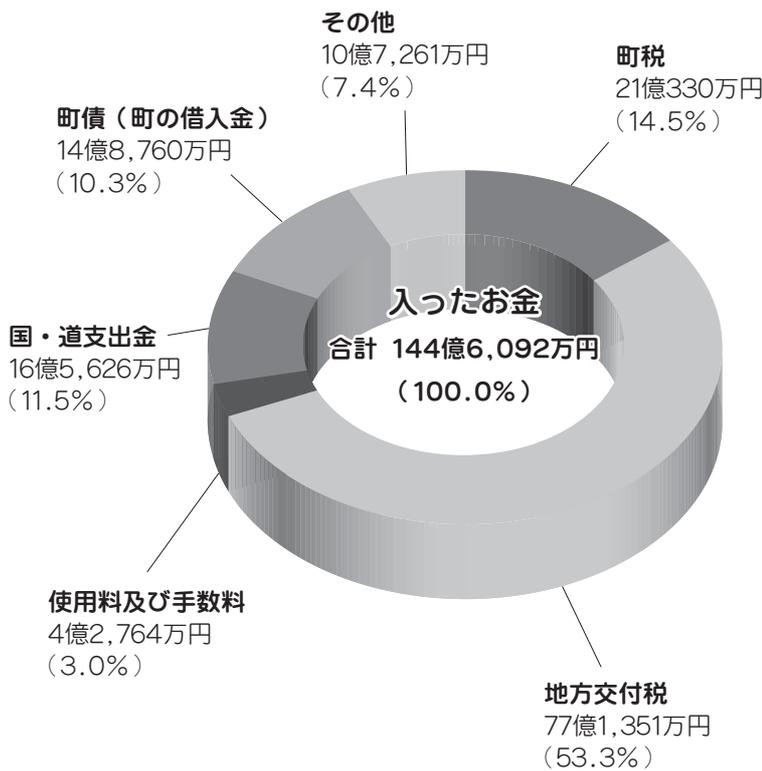
## 決算認定

# 成果を検証！

## 決算審査特別委員会

### 歳入歳出決算状況

#### 歳入（財源）



平成24年第4回遠軽町議会（定例会）は、9月20日に召集され、9月26日までの7日間の会期で開かれました。

冒頭、佐々木町長から、酪農学園大学との相互交流事業推進を目的とした「地域総合交流に関する協定」締結や合気道開祖植芝盛平翁ゆかりの地入植100年記念事業を始め、各地域で開催されたイベントの報告と提出案件の要旨説明が行われました。

町長から提出された案件は、報告4件、人事案件3件、議案11件、平成23年度各会計の決算認定8件の26件で、決算認定については決算審査特別委員会を設置。町税の使い道などを細かくチェックし、各事業等の成果を検証しました。審議結果は、提案された全ての議案を原案通り可決しました。

また、議員から提案された意見書2件について原案可決。一般質問については、5人の議員が登壇し、町民生活に関わる課題等について質しました。

#### 《一般会計歳入歳出決算額》

歳入総額	144億6,092万円
歳出総額	142億4,894万円
差引合計	2億1,198万円
翌年度繰越財源	7万円
実質収支額	2億1,191万円
基金繰入額	1億 600万円



遠軽小学校給食室

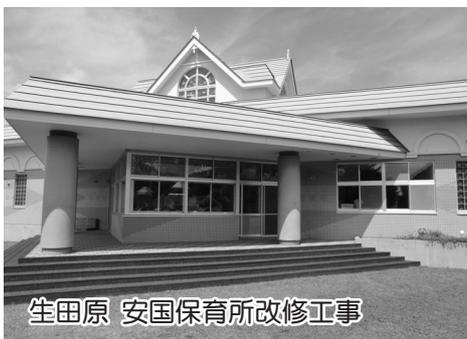
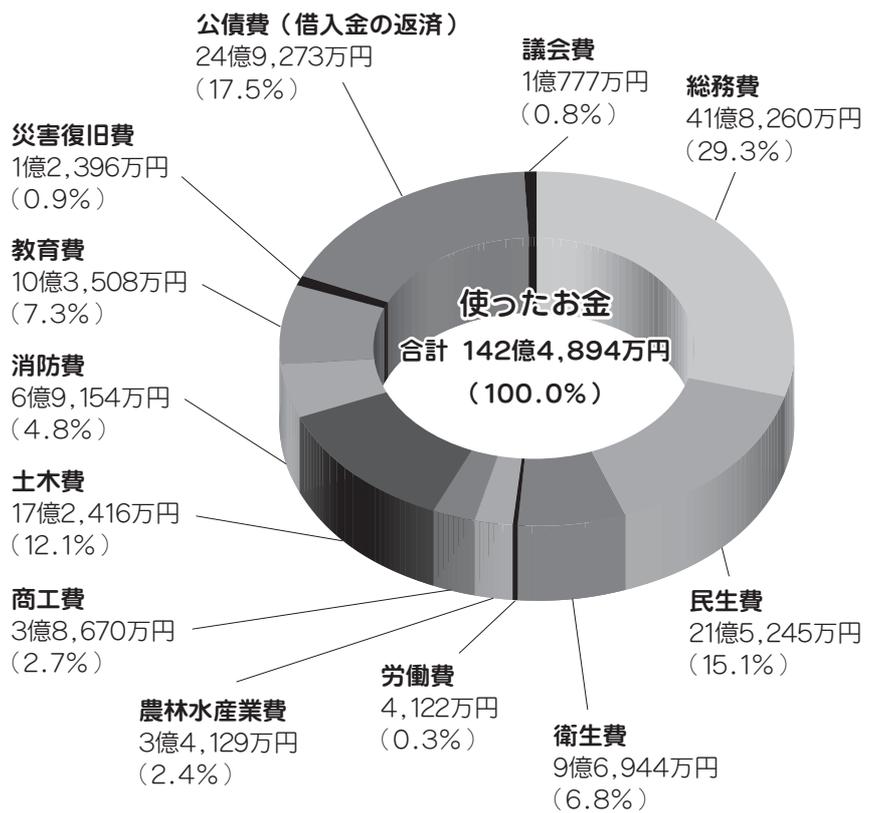
# 平成23年度

# 決算総額 209 億円の

## 一般会計・特別会計・企業会計

### 平成23年度一般会計

#### 歳出（使い道）



生田原 安国保育所改修工事



白滝 更生橋災害復旧工事



丸瀬布 いえの森センターハウス



白滝ジオパーク交流センター

平成23年度一般会計歳入歳出決算については、歳入で144億6,092万円（予算収入率99.0%）、歳出で142億4,894万円（予算執行率97.5%）の決算となり、形式的収支としては2億1,198万円の黒字決算となりました。

なお、実質収支額のうち1億600万円を基金（貯金）に繰入しました。

## ◎各特別会計歳入歳出決算の状況

	歳 入	歳 出	差 引 額
国民健康保険特別会計	26億9,978万円	26億6,083万円	3,895万円
後期高齢者医療特別会計	2億6,261万円	2億6,158万円	103万円
介護保険特別会計	13億9,596万円	13億7,598万円	1,998万円
個別排水処理事業特別会計	572万円	502万円	70万円
公共用地先行取得事業特別会計	898万円	898万円	0万円
計	43億7,305万円	43億1,239万円	6,066万円

※差引額については四捨五入で計上しています。

## ◎企業会計の決算状況

### 水道事業会計

	収 入	支 出	差 引 額	説 明
収益的収支	4億7,340万円	4億6,750万円	590万円	資本的収支の不足額については、損益勘定留保資金や積立金などにより補てんしました。
資本的収支	1,653万円	2億2,000万円	△2億 347万円	

### 下水道事業会計

	収 入	支 出	差 引 額	説 明
収益的収支	8億6,416万円	8億4,468万円	1,948万円	資本的収支の不足額については、損益勘定留保資金や利益剰余金処分額などにより補てんしました。
資本的収支	3億8,976万円	8億6,704万円	△4億7,728万円	

**収納率を向上させ、持続可能な  
自治体運営の確立を**  
 決算審査特別委員会報告（要旨）

- ◎一般会計
  - ・ 町税については、滞納繰越額が増加していることから、健全財政を進める上で、一層の収納率向上に努めるべきである。
- ◎特別会計
  - ・ 国民健康保険税については、保険財政の健全化を図るため、収納率向上に努めるべきである。
- ◎企業会計
  - ・ 水道料金は、現下の経済状況により収入未済額の増加が懸念されることから、収納強化に努めるべきである。
  - ・ 公共下水道使用料は、健全財政を図るため、収納強化に努めるべきである。
- ◎その他
  - ・ 奨学資金貸付基金について、償還率の低下は、奨学資金貸付原資の減少につながることから、今後の運用に支障をきたすこととなる。よって、償還率を高めるよう努めるべきである。

## データで見る町の財政状況

### 財政比率は ……

#### ◆財政力指数（＝余力）

0.255（対前年度比0.008ポイント減少）

この指数が1を超えるほど財源に余裕があるとされています。

#### ◆自主財源比率（＝自立力）

21.3%（対前年度比0.6ポイント減少）

自主的に収入することができるお金の比率で、行政活動の自主性と安定性の尺度とも言えます。

#### ◆経常収支比率（＝弾力性）

84.8%（対前年度比5.3ポイント増加）

経常経費を経常一般財源収入で割り返したもので、数値が低いほど弾力性があると言えます。

### 健全化判断比率は ……

#### ◆実質公債費比率

14.1%（対前年度比2.2ポイント改善）

標準財政規模に占める借金の割合で、数値が低いほど健全であると言えます。

#### ◆将来負担比率

79.1%（対前年度比15.5ポイント減少）

一般会計で将来負担すべき実質的な負債を指標化したもので、数値が低いほど健全であると言えます。

#### ◆実質赤字比率

黒字のため該当なし

一般会計の赤字の程度を指標化したものです。

#### ◆連結実質赤字比率

黒字のため該当なし

すべての会計の赤字・黒字を合算して、地方公共団体としての赤字の程度を指標化したものです。

#### ◆資金不足比率

不足額なし

公営企業会計の、資金不足額の事業規模に占める割合を示すものです。

	早期健全化基準	財政再生基準
実質公債費比率	25%	35%
将来負担比率	350%	基準なし
実質赤字比率	13.33%	20%
連結実質赤字比率	18.33%	30%

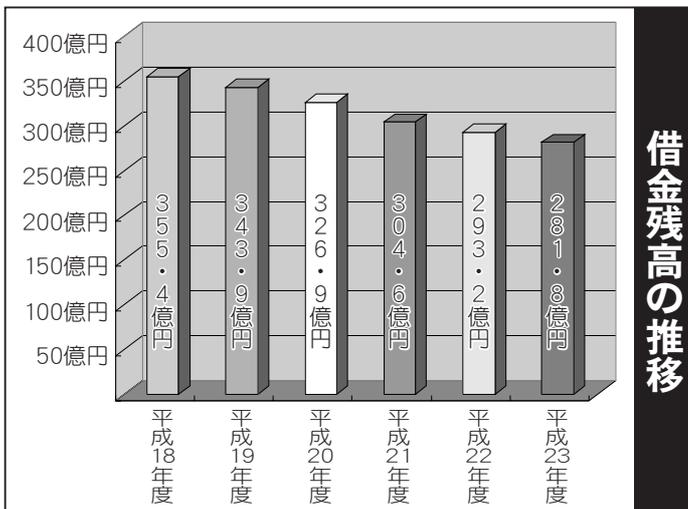


### 平成23年度の主な未収金

町 税	1億7,540万円
国民健康保険税	1億2,722万円
水道使用料	1,832万円
住宅使用料	1,384万円
下水道使用料	1,141万円

### 平成23年度末現在の貯金額

財政調整基金	15億2,497万円
減債基金	11億1,828万円
まちづくり振興基金	1億5,520万円
地域振興基金	14億4,798万円
介護給付準備基金	2億4,940万円
その他	3億6,220万円
合計	48億5,803万円



早期健全化基準を超えると「早期健全化団体」となり、財政健全化計画を定めて自主的な改善努力による財政健全化に取り組まなければなりません。さらに数値が悪化して財政再生基準を超えると「財政再生団体」として財政再生計画を定め、国等の関与を受けて確実な再生に取り組むことになります。

# 主な内容

FIS公認

遠軽カップアルペン競技大会関係へ  
585万円助成  
丸瀬布厚生病院損失負担金追加568万円

## 補正予算

平成24年度一般会計補正予算(第4号)について、歳入は道支出金、寄付金、繰越金等を補正しました。

歳出は、丸瀬布厚生病院損失負担金や栄野地区農地保全対策工事、遠軽高校生の進学・就職支援事業にかかると教育振興補助金、遠軽カップアルペン競技大会に関するロックバレースキー場維持補助金追加などにかかる経費を補正しました。

- 高齢者住宅設備改造支 援費 200万円
- 丸瀬布厚生病院損失負 担金 568万円
- 青年就農給付金事業補 助金 150万円
- 栄野地区農地保全対策 工事 1000万円



ロックバレースキー場

○民有林振興対策事業補 助金 289万円

【主な内訳】

- ・造林戸数6戸、23ha

○遠軽地区自治会連合会 防災事業補助金 80万円

【主な内訳】

- ・自治会マップ、QRカ ード経費助成

○遠軽高等学校教育振興 補助金 100万円

【主な内訳】

- ・進学対応のための衛星 放送講座導入

・就職対応のための適性 検査補助

○社会体育振興補助金 298万円

【主な内訳】

- ・「遠軽カップアルペン 競技大会」が国際スキ ー連盟(FIS)公認 大会に変更になったた め、必要機材購入

○ロックバレースキー場 維持補助金 287万円

【主な内訳】

- ・通信ケーブル改修
- ・プレハブ購入 1棟

### 《解説》

毎年、遠軽ロックバレースキー場で開催されていきます「遠軽カップアルペン競技大会」は、昨年までは、全日本スキー連盟(SAJ)の公認大会でしたが、平成25年1月の大会から国際スキー連盟(FIS)公認大会に変更となります。

## 工事請負契約

◎平成24年度南町39号線 道路路改良工事  
指名競争入札の結果、丹野工業㈱と4935万円を12月10日までとしています。



南町39号線

## 財産取得

◎平成24年度財務会計システム購入  
指名競争入札の結果、㈱コンピュータ・ビジネスと1134万円を契約を締結しています。

## 人事

◆人権擁護委員候補者の推薦  
平成24年12月31日をもって任期満了となる人権擁護委員候補者として

・白滝 岩船 定男 氏  
の推薦に対し、同意しました。

◆教育委員会委員の任命  
平成24年11月8日をもって任期満了となる教育委員会委員として

・丸瀬布水谷町 福井 稔晋 氏  
の任命に対し、同意しました。

◆公平委員会委員の選任  
平成24年11月8日をもって任期満了となる公平委員会委員として

・大通南4丁目 和田 修 氏  
の選任に対し、同意しました。

..... 遠軽町から表彰される方 .....

遠軽町表彰条例に基づき、次の方々を表彰することにおいて原案のとおり可決しました。

【社会功労】

住 所	氏 名	寄附内容	要 件
2条通北6丁目	大谷二美恵 様	南町1丁目 宅地	公共のため30万円以上の金品を寄附した個人

【消防功労】

住 所	氏 名	公 職 名	要 件
福路2丁目	長谷川道夫 様	遠軽町消防団員	消防団員として20年以上 (在職中)
丸瀬布元町	関 久 様	遠軽町消防団員	
丸瀬布水谷町	玉置 敏彦 様	遠軽町消防団員	
2条通北8丁目	中川 昇 様	遠軽町消防団員	
岩見通北4丁目	石垣 正行 様	遠軽町消防団員	
福路2丁目	井上 幸次 様	遠軽町消防団員	
2条通北6丁目	竹林 一彦 様	遠軽町消防団員	
白滝西区	佐藤 英一 様	遠軽町消防団員	

**民生常任委員会**  
**道内行政調査報告書**  
 平成24年9月6日(木)

- **名称**  
愛別町外3町 塵芥処理組合  
(運営・維持管理)
- **構成町**  
愛別町、上川町、当麻町、比布町(4町)
- **施設所在地**  
愛別町字金富3区
- ★ **「富沢衛生センター」敷地面積**  
ごみ処理施設  
14,673㎡  
埋立処分地施設  
45,422㎡
- ★ **「リサイクルセンター」敷地面積**  
18,449㎡
- ★ **「リサイクルセンター」概要**  
5種類(発泡スチロール、空き缶、びん、ペットボトル、紙類)に分別し、最終的に専門業者に引き取られ再利用。  
粗大ごみで良好な状態の家具等は、職員が修理・整備し、展示・販売。
- ★ **焼却施設**  
供用開始から14年が経過しているが、小破修理は組合職員が直接対応。よって、年間の修繕費が抑えられている。  
准連ストーカ炉で2炉設置され、2系統で運転。1系統が故障しても対応が可能で効率的。  
平成7年の建設時に、ダイオキシンの有害物質の除去を見据えたバグフィルタ等の集じん
- ★ **埋立処分地施設**  
10年計画だったが、分別の徹底により今後15年は使用可能。  
埋立ごみは、高密度ポリエチレンシートを敷き、ごみの流出や破壊を防止。また、飛散防止フェンスも設置。
- ★ **建屋面積**  
1,200㎡



愛別町外3町塵芥処分場

【総括】まとめ  
 ・焼却施設の一部は委託職員(業者)が年間9000〜9300万円管理・運営。他施設内は組合が管理・運営をしている。修繕についても組合が行うことにより経費削減が図られている。  
 ・確実な維持・管理をするためにも、広域組合で運営することが望ましい。  
 ・委託料、修繕費を抑えるためにも、専門技術職を育成することが課題。  
 ・高力ロータリーごみを焼却することで覆土と埋立量を減らし、最終処分場の延命化が図られる。

# 委員会活動

## 総務・文教常任委員会所管施設調査実施

7月24日

総務・文教常任委員会では、8月1日、3日の両日に町内の所管施設を調査しました。

### ○遠軽地域

- ・瀬戸瀬小学校、南小学校、遠軽小学校、東小学校
- ・南中学校、遠軽中学校、望の岡分校

### ○生田原地域

- ・安国中学校、安国小学校
- ・生田原中学校、生田原小学校

### ○丸瀬布地域

- ・丸瀬布中学校、丸瀬布小学校

### ○白滝地域

- ・白滝中学校、白滝小学校



安国小学校体育館



遠軽東小グラウンド

## 経済常任委員会所管施設調査実施

7月10日、11日

経済常任委員会では、7月10日、11日の両日に町内の所管施設を調査しました。

### ○遠軽地域

- ・東2線道路改良工事（防雪柵）
- ・南町39号線通道路改良工事
- ・ふくろ団地公営住宅新築工事（1号棟）
- ・遠軽小学校給食施設
- ・瞰望岩通道路改良工事（雪崩柵）

### ○生田原地域

- ・生田原コミュニティセンター「ノースキング」浴場等改修工事
- ・生田原コミュニティセンター「ノースキング」旧館換気設備等改修工事
- ・栄行団地公営住宅解体・建設（1号棟）工事
- ・安国排水路支線整備工事



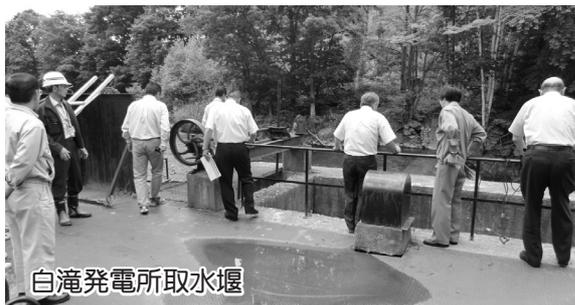
丸瀬布平和山公園小規模治山工事

### ○丸瀬布地域

- ・森林公園いこいの森防護柵設置工事及びセンターハウス建設工事
- ・平和山公園小規模治山工事

### ○白滝地域

- ・上支湧別幹線更生橋災害復旧工事
- ・白滝市街西線道路改良工事
- ・ジオパーク拠点施設整備改良工事
- ・白滝発電所取水堰



白滝発電所取水堰

# 委員会活動

## 民生常任委員会所管施設調査実施

7月24日

民生常任委員会では、7月24日に町内の所管施設を調査しました。

### ○遠軽地域

- ・遠軽清掃センター：施設調査及び建設予定地見学
- ・南保育所：暖房設備改修工事
- ・東保育所：施設環境調査

### ○生田原地域

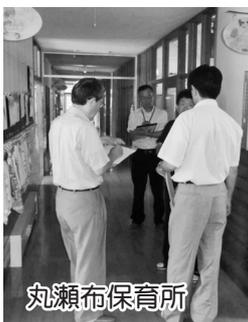
- ・安国保育所：テラス改修工事
- ・生田原保育所：保育室内装等改修工事
- ・旭野廃棄物最終処分場：埋立て処分場調査

### ○丸瀬布地域

- ・丸瀬布保育所：暖房・断熱設備改修



旭野廃棄物最終処分場



丸瀬布保育所

# 所管事務調査報告

平成23年第4回遠軽町議会（定例会）で承認を得た所管事務調査について、総務・文教、民生、経済の各常任委員会から報告がありました。

内容の一部を抜粋してお知らせします。

（詳細は遠軽町議会ホームページ：<http://engaru.jp/gikai/>）

## 総務・文教

町民と町が協働してまちづくりを

- 1 条例に関する事項
- (1) 条例・規則の見直し
- (2) 分権条例の広報公聴
- (3) 子どもの権利条例制定
- (4) 町民憲章等の制定について、町花、町木及び町民憲章は、合併10年の節目に制定をすべく、早急に着手すべき。

- 2 財産管理に関する事項
- (1) 旧名寄線跡地、旧遠軽小学校校舎施設について、早急に利活用について具体的検討をすべき。
- (2) 未処理用地（未登記公衆道路等）の整理

### 3 行財政に関する事項

- (1) 財政健全化について、新たな財政計画に立脚した行財政運営を推進すべき。
- (2) 行政評価について、効果的かつ効果的な自治体運営を行うため、評価項目や調査内容等の充実に努めるべき。
- (3) 地方公会計改革への取り組み

### 4 事務執行に関する事項

- (1) 使用料等の滞納繰越額について、歳入の確保に努め、滞納額の解消に取り組むべき。
- (2) 定員管理の適正化
- (3) 人材の育成について、高度多様化する事務事

業を適切に対応できる実務を基本の法制執務を研修計画に採り入れ、人材の育成に努めるべき。

### (4) 組織機構の改革

### 5 学校教育に関する事項

- (1) 教育施設の整備・充実
- (2) 学校給食の事務について、給食費の一部未収金の増加が見られることから、対策を講じるべき。
- (3) 給食食材の調達について、地域振興の一環として地産地消の推進に努めるべき。また、食育の推進に努めるべき。



食育講座

# 委員会活動

- (4) 丸瀬布学校給食センターについて、近い将来に向けての検討が必要であり、地域住民の意見を聴き慎重に検討すべき。
- (5) 少子化による小中学校の生徒数の減少について、学校の統廃合や小中併置等実態に即した検討を進めるべき。
- (6) 小中学校の安全対策
- (7) 教職員住宅

## 6 社会教育及び文化に関する事項

- (1) 生涯学習
- (2) 図書館事業
- (3) 文化センター等建設について、生涯学習の拠点施設となり得るため町民の合意形成に努めるべき。

## 7 社会体育及び健康づくりに関する事項

- (1) 体育施設の整備

## 8 その他に関する事項

- (1) 総合計画は、事務事業の優先度、緊急度、財政状況等を勘案し、計画的に推進すべき。
- (2) 生活交通路線の総合的

な見直しについて、交通弱者対策としての生活交通路線確保に努めるべき。

- (3) 陸上自衛隊遠軽駐屯地等の増強・存続について、自衛隊存置の地域に及ぼす影響等を十分配慮し、関係諸団体と連携し、積極的に要請活動を展開すべき。

# 民生

## 地域医療体制の充実と維持・確保が重要

### 1 社会福祉に関する事項

- (1) 高齢者や障がい者・児童の各分野において、相互扶助の充実と地域福祉の向上に努めるべき。
- (2) 障がい者が安心して暮らすことのできる地域社会の実現のために、各種サービスの計画的な整備や就労支援の強化など努力すべき。
- (3) 高齢者が安心して生活を続けられるよう保険・医療・福祉のさらな

る充実を図るべき。

(4) 子育て家庭への支援や児童保育サービスの充実を図り環境の整備を進めるべき。

### 2 保健衛生に関する事項

- (1) 特定健診・特定保健指導について、受診環境等の整備、住民への健診の意識向上を図るべき。
- (2) 介護保険制度については、施設の整備、充実に支援すべき。また、介護サービスの質の向上を図るべき。

### 3 環境衛生に関する事項

- (1) 遠軽町廃棄物処理施設については、早急に施設設備の更新を図り、旭野一般廃棄物最終処分場については、覆土量を減らすことなどで延命化を図るべき。
- (2) 生活排水対策については、未整備地区である

### 4 住民生活に関する事項

- (1) 生活道路における交通安全対策の推進
- (2) 通学路の歩道整備等
- (3) 安全安心のまちづくりについては、地域における防犯、青少年・子どもの健全育成及び交通安全に関する施策を積極的に講じるべき。

### 5 町税等に関する事項

- 町税等の収入確保は、負担の公平を期する観点から、滞納の解消を図るため、より効果的な徴収対策を講じ収納率の向上に努めるべき。



遠軽町清掃センター

瀬戸瀬、社名淵及び生田原・安国地域について、効率的な下水処理対策に取り組むべき。

# 経済

## 地域経済活性化には時代に即応した戦略を

### 1 農業及び林業に関する事項

- (1) 農業経営の振興と安定のため、安全安心な食料を提供する支援策を講じるべき。
- (2) 農畜産物の加工や地場産品を活かした産業おこしを積極的に推進すべき。
- (3) 森林資源の保全と森林管理体制の強化を図りながら、林業生産の振興に努めるべき。
- (4) 間伐材の有効利用
- (5) 民有林の整備

### 2 商工業及び観光に関する事項

- (1) 商工業の振興については、景気低迷による商工業の活性化対策を講ずるとともに、町としての事業の推進に努めるべき。
- (2) 町内で生産される農林水産物の加工品、伝統

# 委員会活動

工芸品等について、地場産業の振興策の一環として育成に努めるべき。

(3) 地域にある豊富な観光資源や自然を活かした特色ある各種イベントの充実に努め、経済的波及効果に結びつく施策を積極的に推進すべき。

### 3 消費及び労政に関する事項

- (1) 消費対策については、地場産品のPR並びに消費拡大を推進すべき。
- (2) 就労対策については、失業者や季節労働者の雇用対策を講ずるべき。
- (3) 地域経済の活性化

### 4 道路及び河川に関する事項

- (1) 町道については、計画的な整備を進めるべき。
- (2) 歩道、交差点の除排雪
- (3) 河川については、地域によって増水時の被害発生や危険性があることから、計画的な整備を進めるべき。

### 5 住宅及び建築に関する事項

- (1) 住宅建設については、均衡ある地域の発展も考慮し進めるべき。
- (2) 用途廃止の公営住宅は、計画的に取り壊すべき。

### 6 車両管理に関する事項

- (1) 町営バス運行業務については、既に委託により実施しているが、土木車両等についても業務の委託化について検討を進めていくべき。
- (2) 町営バス事業については、地域住民の足を確保するためにも、関係機関等と協議し、運行体制の整備を行うべき。
- (3) 町有車両等の保管

### 7 都市計画に関する事項

- (1) 都市計画マスタープランの推進

### 8 公共下水道事業に関する事項

- (1) 公共下水道事業の推進
- (2) 公共下水道施設の整備・更新
- (3) 町内未整備地区は財政状況などを勘案し、事

業開始に向けた計画を検討すべき。

### 9 水道事業に関する事項

- (1) 水道事業の経営の安定と効率的な運営
- (2) 水道事業の推進
- (3) 安全な水を安定して供給するため、突発的な災害等に対応できるように努めるべき。

## 意見書可決

— 国への要望 意見書案2件を提出 —

議員提案により、意見書案が提出され、いずれも可決し関係省庁に意見書を送付しました。

森林・林業・木材産業施策の積極的な展開に関する意見書

(提出者 奥田稔議員他5人)

近年、地球温暖化が深刻な環境問題となつている中で、二酸化炭素を吸収・固定する森林・木材に対し大きな関心と期待が寄せられているが、わ

もに、林業の安定的発展と山村の活性化を図っていくためには、国の「森林・林業基本計画」等に

基づき、森林施策の集約化、路網の整備、人材の育成等を積極的に進めるとともに、道産材の利用促進などにより、森林資源の循環利用を進め、森林・林業の再生を図ることが重要である。

また、東日本大震災の被災地において本格的な復興を早期に図るため、復興に必要な木材を安定的に供給できるよう取り組むことが必要である。よって、国においては、次の事項を実現するよう強く要望する。

- 1 地球温暖化防止に向けた森林吸収源対策を促進するため、間伐等促進法を平成25年度以降も延長し、間伐や植林などの造林補助事業に対する都道府県や市町村の負担を軽減するための地方債の特例措置を引き続き継続すること。
- 2 地球温暖化防止、特に、平成25年度以降の森林吸収源対策の推進や木



いといの森 雨宮21号

材利用促進を図るため、地球温暖化対策のための税の使途に森林吸収源対策を追加するなど安定的な税・財源を確保すること。

3 安定的な林業経営の確立に向け、直接支払い制度による搬出間伐の推進、路網整備等経営基盤の整備、フォレスト・現場技能者等の人材の育成確保対策の強化を図るとともに、森林施業の集約化や機械化の推進など効率的施業の推進と助成の拡充を図ること。

4 環境貢献に着目した住宅・土木用資材及び建築物への国産材利用の推進、特に公共建築物等木材利用促進法を踏まえ、木造公共施設等の整備への助成の拡充を図ること。  
また、固定価格買い取り制度等を積極的に活用した木質バイオマスなど再生可能エネルギーの利用を促進すること。

5 地域の安全・安心の確保に向けた治山対策の推進、また、津波対策等も踏まえた海岸防災林の整備を促進すること。

6 森林・林業再生にあって不可欠な森林所有者自らが災害に備える唯一のセーフティネットの手段である森林の損害を補償する保険の仕組みを確保すること。

7 国有林の一般会計化による公益的機能の一層の発揮、森林・林業再生に向けた貢献及び現場管理の実情を踏まえた安定的な管理運営体制の確立を図ること。

(提出先) 衆・参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、国土交通大臣、環境大臣、復興大臣

地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書  
(提出者) 浅水輝彦議員  
他6人

地球温暖化防止のための温室効果ガスの削減は、わが国のみならず地球規模の重要かつ喫緊の課題となっており、森林の

つ地球環境保護、国土の保全、水資源の涵養、自然環境の保持など「森林の公益的機能」に対する国民の関心と期待は大きくなっている。

また、わが国は京都議定書において、第1約束期間である平成20年から平成24年までの間に、温室効果ガスを6%削減することが国際的に義務付けられているが、そのうち3・8%を森林吸収量により確保するとしている。

このような中、「地球温暖化対策のための税」が平成24年10月に導入される一方、「森林吸収源対策などの地球温暖化対策に関する地方の財源確保」については、「平成24年度税制改正大綱」において、「平成25年度実施に向けた成案を得るべくさらに検討を進める」とされている。

もとより、地球温暖化防止をより確実なものとするためには、森林の整備・保全等の森林吸収源対策や豊富な自然環境が生み出す再生可能エネル

ギーの活用などの取組みを、山村地域の市町村が主体的・総合的に実施することが不可欠である。

しかしながら、これらの市町村では、木材価格の暴落・低迷や林業従事者の高齢化、後継者不足など厳しい情勢にあり、森林吸収源対策など地球温暖化対策に取り組むための恒久的・安定的な財源が大幅に不足している。よって、国においては下記事項の実現を強く求めるものである。

1 二酸化炭素吸収源として最も重要な機能を有する森林の整備・保全等を推進する市町村の役割を踏まえ、「地球温暖化対策のための税」の一定割合を、森林面積に応じて譲与する「地方財源を確保・充実する仕組み」を早急に構築すること。  
(提出先) 衆・参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、農林水産大臣、環境大臣、経済産業大臣、国家戦略担当大臣

### 遠軽町議会ホームページをご覧ください。

- 遠軽町議会議員名簿
- 常任委員会等名簿
- 遠軽町議会議員会派別名簿
- えんがる議会だより
- 一般質問通告(概要)
- 請願・陳情の手続き
- 意見書・決議
- 常任委員会所管事務調査
- 常任委員会所管事務調査報告
- 議会改革のながれ

©遠軽町議会ホームページアドレス <http://engaru.jp/gikai>



# ただ 町政を質す!!

## 一般質問

山田 和夫 議員



### 問

ノースキング「レストラン」の  
運営は

### 答

「公社直営」で運営、町として  
協力する

**問** ノースキング・レストラン部門の出店テナントから、8月末に「撤退」を申し出され、指定管理者である生田原振興公社では、直営で運営する方針だと聞きました。

町財政が厳しい中、少しでも少ない予算でと考えると、現在休止している「地ビールレストランふあーらいと」で所有している食器類を初め、備品類や機械等の有効活用を考える必要があります。

また、新しい料理人の希望も考慮しなければなりません。

告と今後の協力要請を受けました。

今後の料理の種類によって厨房の形態も変わることにあります。

ノースキングが「生田原地域」にとって重要な施設であることを考えれば、町としても相応の支援、協力をしなければなりません。

8月末に撤退の申し出を受け、9月5日の臨時取締役会で、公社直営でのレストラン運営を議決したとの事ですので、この方針を「良」とし、必要な支援、協力をしていきます。

20年を経過しています。専門業者に点検を依頼し、修理して使えるもの、新たに購入しなければならぬものを見極めると同時に、必要な食器類等も、料理人や公社との話し合いの上で購入する考えです。

ノースキング本体を町が所有している現状から、今回のレストラン運営の変更で、食器類及び備品類などの必要な設備の変更などを町が予算化しなければなりません。

現在のノースキングが「生田原地域」にとって重要な施設であることを考えれば、町としても相応の支援、協力をしなければなりません。

現在の厨房設備である冷凍庫、冷蔵庫等を始めとした備品類は、設置後

現在休止となっている「地ビールレストランふあーらいと」の備品等は、有効活用を念頭に担当課と協議します。

必要経費等の補正の考え方は、当初予算での予備費の充当て間に合う場合もあるし、額が大きければ臨時議会での補正もあることから、時期も含め議会側と相談します。



生田原 ノースキング

**町長** ノースキングは、生田原地域で重要な位置を占めています。それは雇用の面、地域のシンボリックな面、観光の面など大事な施設であり、今後ともノースキングが地域振興の役割を果たすことから、でき得る支援、協力をしていきます。

# 一般質問

荒井 範明 議員



## 問

公共施設維持・更新の「白書」  
作りを

## 答

過去のデータを活用する

**問** 近年、町の財政数値は好転していますが、まだまだ厳しい財政運営を強いられています。

さらに、行財政改革を進める上で有効なのが、公共施設維持・更新の「白書」作りです。住民の生活に密着した施設の更新は、これからも大きな課題です。

今後、すべての施設を維持することは極めて困難です。更新時期、投資額、人件費を含む諸経費を計算し、利用度・必要度を考慮して、引き続き維持するかどうかのクラス分けをし、また、改修して別の機能を持たせる施設もあるでしょう。

「白書」作りの見解を伺います。

**町長** 「白書」は、町の施設の管理運営を効率的に行う基礎資料となるものです。

公共施設については、昭和40年代から50年代の建物が多く、更新・改修が必要となってきました。これまでも行財政改革の一環として作業を進めてきました。国からの経済対策交付金を活用し、解体撤去等も行ってきました。

第一次行政改革において、施設の見直し評価を実施しており、設置年度、維持管理経費、使用料の

占める割合、今後の展望等のデータがあるのでこれを活用します。

**問** 森林・林業再生に向けて

**答** 環境に配慮して取組む

**問** 町の行政面積に占める森林面積は、88%を超えており、緑豊かな町と言われるゆえんでもあります。

低炭素社会づくりに向け、社会構造も変わろうとする中で、国土保全や循環型木材資源の供給源として、森林・林業の再生は極めて重要です。林野庁が再生プランを策定

し、事業がスタートしました。町職員も、人材育成のための准フォレスター研修に参加しています。

研修後、林業現場でどのような指導が可能なか課題がありますし、林業技術者や現場技能者の育成も必要です。

森林の役割は経済的機能と公益的機能に分けられます。

私有林は、森林組合を通じて未来につなぐ森づくり推進事業を継続します。町有林は、計画的な伐採と植林事業を実施し、環境に配慮します。

また、木材については、木質バイオマスの検討や、高性能林業機械の導入促進にも取り組みます。

森林・林業の再生に向け、町として可能な取り組みを伺います。

**町長** 国は、平成21年12月に森林・林業再生プランを公表しました。社会構造をコンクリートから木へ転換し、低炭素社会を目指すとしています。そのための人材育成研修は、平成24年度から市町村職員も対象となり、担当職員を受講させています。

森林の役割は経済的機能と公益的機能に分けられます。

私有林は、森林組合を通じて未来につなぐ森づくり推進事業を継続します。町有林は、計画的な伐採と植林事業を実施し、環境に配慮します。

また、木材については、木質バイオマスの検討や、高性能林業機械の導入促進にも取り組みます。

# ただ 町政を質す!!

町政を質す!!

町政を質す!!

町政を質す!!



准フォレスター (林野庁HPより)

# ただ 町政を質す!!

## 一般質問

高橋眞千子 議員



### 問

不妊治療を受ける町民に国制度の上乗せの考えは

### 答

独自の助成は、今しばらく状況を見守る

**問** 子どもが欲しくても恵まれず、不妊治療を受ける方が増えています。

不妊治療は、1回の治療費が高額であることから、特定不妊治療と言われる体外受精・顕微授精に限り治療費の一部を助成する事業が国の制度で始まりまして。

5年間で通算10回までの治療費が助成されますが、治療を受けるためには、旭川・札幌まで行かなければならないことなど経済的、肉体的、精神的負担が大きく、子どもを持つことを諦めざるを得ない方も少なくありません。

町として国の制度の上乗せや対象の拡大（人工授精や一般不妊治療等）の考えはありますか。

**町長** 特定不妊治療の国の制度での助成額は、1回の治療に15万円まで、1年度目は年に3回、2年度目は年に2回、通算10回を超えない範囲で5年間助成されます。

平成23年度に利用された町民は11名です。

遠軽町において不妊治療に関する相談は皆無であり、町として詳しい資料を持ち合わせていない状況です。

独自に不妊治療に助成を行うためには、今しばらく状況を見守る必要があります。

国や北海道に対しては利用者の実態に沿った現行制度の改正や助成金額の拡大などを要望していきます。

路や周辺の家屋にまで被害が及んだことは記憶に新しいところです。

### 問

老朽化した空き家等の対策について

### 答

すべての地域の廃屋、空き家の戸数把握を指示

多くの自治体で、大雪による空き家や廃屋が倒壊するなど、付近の道路や周辺の家屋にまで被害が及んだことは記憶に新しいところです。

近年、遠軽町も空き家が多くなり、家財道具を残しての空き家も増えていきます。

防犯・防犯上からも景観の観点からも、まちづくりには大きな支障になっています。

町中の景観、周辺住民の安全性の確保等を考えると早急に取り組まなければなりません。

空き家・廃屋等の対策の考えは。

**町長** 遠軽町でも、これまで数件の危険な空き

家・廃屋に関する苦情や要望が寄せられています。

しかし、これらの空き家・廃屋は、あくまでも個人の財産であるため、所有者にその対応を求めるところとしています。

現在、各総合支所も含めて全ての地域の空き家・廃屋の戸数把握を指示しているところであり、今後は調査結果に基づき、必要な検討を重ねていきたいと考えています。

現在、各総合支所も含めて全ての地域の空き家・廃屋の戸数把握を指示しているところであり、今後は調査結果に基づき、必要な検討を重ねていきたいと考えています。



町内の空き家

# 一般質問

岩澤 武征 議員



問

いじめ問題への対応と

遠軽の実態は

答

基本は、未然防止・早期発見・早期対応

問 昨年度、学校が把握

したいじめの件数は、全

国で約7万件あったとい

うことが文科省の調査で

分りました。また、自殺

者は、過去25年間で最も

多い200人に上りまし

た。

全国的に起きているい

じめ問題では、学校側は

「遊びだった。気付かな

かった。知らなかった。」

教育委員会は「報告がな

かった。」と責任逃れの

対応が多く、被害者から

は、2重3重に苦しめら

れたという声がありまし

た。

の姿勢が求められます。

また、遠軽町のいじめ

の実態はどうですか。

教育長 いじめは「どこ

の学校にも有り得る」と

の認識をもとに、あらゆ

る機会を通して早期発見

未然防止に努めていると

ころですが、現実には気

付いてあげるだけでも難

しいことです。

学校は、すべての子ど

もたちが明るく楽しい学

校生活を送れるよう一丸

となって取り組んでいま

す。

いじめの件数は、小学

校4件、中学校6件で、

けて取り組んでいます。

ように判断していますか。

問 就学援助制度の充実

を

学校の実態がさまざま

まで給与は難しい。

問 2010年に文科省

は、PTA会費、クラブ

活動費、生徒会費の3項

目を就学支援制度に追加

しました。

今年度配布された「遠

軽町就学援助制度」のお

知らせには、追加された

3項目は入っていません。

国は交付税に入れると

いうことなので、学校の

実態を確認して、これら

の収入額があれば保護者

に対して親切です。来年

度から書き入れるべきと

考えます。

答 なるべく正確で誤解

のないようにと考えてい

ます。簡単な数字とかは

出すことができませんが、

個々の実情によって給与

内容が違いますので、給

与されなかったなどと後

から言われることのない

よう、検討させていただ

きます。

町内の小中学校では、

これらの負担方法はさま

ざままで、例えばPTA会

費においては免除制度が

あったり、生徒会費は徴

取しない学校があったり

と実態はさまざまで、学

校の均衡を図って給与す

ることは難しいことと考

えています。

再問 保護者に配布して

いる「就学援助」のお知

らせに、目安となる年間

【遠軽町の援助制度】

経済的な理由により、

小・中学校への就学が困

難な児童や生徒の保護者

の方に「就学援助制度」

があります。

■対象となる方

生活保護世帯の基準に

準ずる程度の低所得世帯

■援助対象経費

学用品の購入や学校給

食などに必要な経費

【再問】

保護者に配布して

いる「就学援助」のお知

らせに、目安となる年間

【再問】

保護者に配布して

いる「就学援助」のお知

らせに、目安となる年間

## ただ 町政を質す!!

# ただ 町政を質す!!

## 一般質問

阿部 君江 議員



**問** 新しいがん検診の導入で受診率のアップを

**答** 専門機関の奨励する従来の検診を続ける

**問** 国民2人に1人が発症し、そのうち3人に1人が死亡すると言われ、死亡原因の3割を占める「がん」の早期発見の切り札が「がん検診」です。主な発症の部位別は、肺がん、胃がん、大腸がんがトップ3です。より効率的で効果的な「がん検診」について伺います。

①肺がんの発見割合が高く、受診者の苦痛が少ない「マルチスライスト検診」を、地域検診や個別検診に導入すべきと考えます。

②胃がんリスク検診は、専門家の間でも評価が分かれていようです。

③大腸がん検診の受診率をアップさせるために、便潜血検査を手軽に郵送できる方式を導入すべきと考えます。

④学校の保健授業では、がん教育はほとんどできていないと伺いました。がんに関する正しい知識を伝え、情報の格差を是正するためにも、学校教育で「がん教育」の推進をすべきと考えます。

⑤学校の保健授業では、がん教育はほとんどできていないと伺いました。がんに関する正しい知識を伝え、情報の格差を是正するためにも、学校教育で「がん教育」の推進をすべきと考えます。

⑥胃がんリスク検診は、専門家の間でも評価が分かれていようです。

⑦胃がんは、ピロリ菌（ヘリコバクター・ピロリ）が原因であることが多く、その予防が重要です。胃がんリスクの高い方に、早期発見が可能な胃がんリスク検診を導入すべきです。

⑧ピロリ菌の診断は、専門家や検診機関でも有効性や導入に対する意見が分かれています。自治体としては専門機関の奨励する従来の検診を続けるべきです。

⑨メンタルヘルスチェック「こころの体温計」を支援対策の1つとして、多くの方に知ってもらうために、広報などで周知する考えはありますか。

⑩メンタルヘルスチェック「こころの体温計」を支援対策の1つとして、多くの方に知ってもらうために、広報などで周知する考えはありますか。

⑪本町では、精神障害者支援団体や、断酒会、紋別保健所などと協議を行い平成22年度から遠軽町自殺予防連絡協議会を立ち上げ、その対策にあたっていきます。「こころの体温計」は一部自治体で導入しているようですが、本町は、町民に周知する情報を持ち合わせていないので、今の段階で周知は考えていません。

⑫引き続き他の自治体での効果を検証し、情報の収集をします。

⑬引き続き他の自治体での効果を検証し、情報の収集をします。

⑭引き続き他の自治体での効果を検証し、情報の収集をします。

⑮引き続き他の自治体での効果を検証し、情報の収集をします。

⑯引き続き他の自治体での効果を検証し、情報の収集をします。

⑰引き続き他の自治体での効果を検証し、情報の収集をします。

⑱引き続き他の自治体での効果を検証し、情報の収集をします。

⑳引き続き他の自治体での効果を検証し、情報の収集をします。

㉑引き続き他の自治体での効果を検証し、情報の収集をします。

㉒引き続き他の自治体での効果を検証し、情報の収集をします。

㉓引き続き他の自治体での効果を検証し、情報の収集をします。

㉔引き続き他の自治体での効果を検証し、情報の収集をします。

㉕引き続き他の自治体での効果を検証し、情報の収集をします。

㉖引き続き他の自治体での効果を検証し、情報の収集をします。

㉗引き続き他の自治体での効果を検証し、情報の収集をします。

㉘引き続き他の自治体での効果を検証し、情報の収集をします。

㉙引き続き他の自治体での効果を検証し、情報の収集をします。

㉚引き続き他の自治体での効果を検証し、情報の収集をします。

㉛引き続き他の自治体での効果を検証し、情報の収集をします。

㉜引き続き他の自治体での効果を検証し、情報の収集をします。

㉝引き続き他の自治体での効果を検証し、情報の収集をします。

㉞引き続き他の自治体での効果を検証し、情報の収集をします。

㉟引き続き他の自治体での効果を検証し、情報の収集をします。

㊱引き続き他の自治体での効果を検証し、情報の収集をします。

㊲引き続き他の自治体での効果を検証し、情報の収集をします。

㊳引き続き他の自治体での効果を検証し、情報の収集をします。

㊴引き続き他の自治体での効果を検証し、情報の収集をします。

㊵引き続き他の自治体での効果を検証し、情報の収集をします。

㊶引き続き他の自治体での効果を検証し、情報の収集をします。

㊷引き続き他の自治体での効果を検証し、情報の収集をします。

㊸引き続き他の自治体での効果を検証し、情報の収集をします。

㊹引き続き他の自治体での効果を検証し、情報の収集をします。

㊺引き続き他の自治体での効果を検証し、情報の収集をします。

㊻引き続き他の自治体での効果を検証し、情報の収集をします。

㊼引き続き他の自治体での効果を検証し、情報の収集をします。

㊽引き続き他の自治体での効果を検証し、情報の収集をします。

㊾引き続き他の自治体での効果を検証し、情報の収集をします。

㊿引き続き他の自治体での効果を検証し、情報の収集をします。

# アンケート調査集計終わる

— 議会改革のために —

## 1 調査の目的

遠軽町議会では、平成24年3月議会で「議会改革・活性化等調査特別委員会」を設置し、その中で町民の皆様が議会に対し、どのようなご意見やご要望をお持ちなのか調査しました。

その結果につきましては、今後の議会改革の参考にさせていただきます。

今回は、紙面の都合上アンケートの結果全ては掲載していませんので、詳細は遠軽町議会ホームページ (<http://engaru.jp/gikai/>) をご覧ください。

また、議会事務局内に閲覧できる「アンケート調査結果報告」も用意しています。

## 2 調査の方法

調査対象地域 遠軽町全域  
調査対象者 遠軽町在住で18歳以上79歳以下の方  
対象者数 2000人

※住民基本台帳（平成24年7月1日現在）に基づき、無作為抽出  
調査方法 郵送し、返信用封筒により回収（無記名回答）

調査事項 町議会に関する9項目について伺いました。また、「ない」と回答した場合については、その理由についても伺いました。

## 3 回答の状況

調査実施者 1997人（2000人のうち7月20日に郵送するまでの間に死亡または町外へ転出した方などを除く）のうち、回答していた方は767人となり、回答率は38・4%となりました。男女別で見ると、男性の回答率が35・0%、女性の回答率が39・3%となりました。

年齢別で見ると、20歳代が最も低く24・4%、次いで40歳代が29・9%であったのに対し、60歳代が49・5%と最も高く、次いで70歳代が43・7%となりました。

また、地域別による回答差はほとんどなく、全ての地域において回答率が35%を超える結果となりました。

## 町議会に関するアンケート結果

回答数 767件  
回答率 38.41%

	回答件数(件)	回答率(%)
◇質問1 あなたは、町議会に関心がありますか？		
① ある	335	43.7
② ない	94	12.3
③ どちらとも言えない	316	41.2
記入なし	22	2.8
◇質問2 あなたは、「えんがる議会だより」（年4回発行）を読んでいますか？		
① どの記事も読む	216	28.2
② 関心があるものだけ読む	406	52.9
③ ほとんど読まない	65	8.5
④ まったく読まない	22	2.9
⑤ 知らない・見たことがない	35	4.5
記入なし	23	3.0
◇質問3 あなたは、町議会の会議（定例会／臨時会・委員会）を傍聴したことがありますか？		
① 定例会／臨時会を傍聴したことがある	42	5.5
② 委員会を傍聴したことがある	22	2.9
③ 傍聴したことがない	663	86.4
記入なし	40	5.2

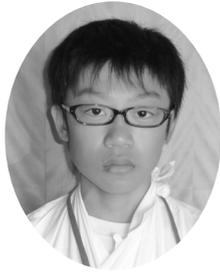
## 町議会に関するアンケート結果

	回答件数(件)	回答率(%)
◇質問4 あなたは、町議会に町民の声が反映されていると思いますか？		
① 反映されている	14	1.8
② ある程度反映されている	183	23.9
③ どちらとも言えない	271	35.3
④ あまり反映されていない	62	8.1
⑤ まったく反映されていない	27	3.5
⑥ わからない	191	24.9
記入なし	19	2.5
◇質問5 あなたは、現在の町議会を評価しますか？		
① 評価する	26	3.4
② やや評価する	241	31.4
③ あまり評価しない	94	12.3
④ 評価しない	40	5.2
⑤ わからない	345	45.0
記入なし	21	2.7
◇質問6 現在の議員数は18人ですが、議員数についてどう思いますか？		
① 多い	204	26.6
② 適当	309	40.3
③ 少ない	5	0.6
④ わからない	230	30.0
記入なし	19	2.5
◇質問7 あなたは、町議会のあり方に対して何を期待しますか？（複数回答可）		
ア 町の行財政運営などに対する議会の審査（チェック）機能の向上	286	13.4
イ 町及び町民の利益になるような施策の提言を行う	378	17.8
ウ 町民の意見や要望を聞く機会を設ける	393	18.5
エ 生活で困っていることなどの相談相手となる	195	9.2
オ 町と道・国とのパイプ役となる	203	9.5
カ 議会での審議結果などについて町民に報告する	236	11.1
キ 議会のしくみなどについて町民に報告する	140	6.6
ク 女性議員が増える	67	3.2
ケ 町議会議員の若返り	207	9.7
コ その他	21	1.0
◇質問8 直接町民に対して町議会での審議状況などをお伝えし、町政に対する様々な意見や要望を聞く「議会報告会」を開催することは必要だと思いますか？		
① 必要である	227	29.6
② 必要ない	136	17.7
③ わからない	356	46.4
記入なし	48	6.3
◇質問9 町議会議員の報酬は、議長295,000円、副議長235,000円、常任委員長212,000円、議員201,000円ですが、この額についてどう思いますか？		
① 高い	244	31.8
② 適当	223	29.1
③ 低い	6	0.8
④ わからない	267	34.8
記入なし	27	3.5

# 傍聴席から 9月議会を傍聴して

今回は、遠軽南中学校  
2年生の生徒3名が  
『総合的な学習の時間』  
における職場訪問」によ  
り、議会の傍聴に来てい  
ただきましたので、感想  
を伺いました。

○傍聴月日 9月21日



中村 提知君

## 《議会傍聴の感想》

町のためだけでなく、  
環境のことも議論してい  
たので、環境のことも考  
えているんだと、初めて  
知りました。

自分は環境の分野に興  
味が有り、将来関係する  
仕事に就きたいので、議  
会の結果が1番良い結果  
になるように努力したい

と思います。

また、今から学校でも  
そういう場面があったら  
今日の事を考えながらや  
りたいです。

## 《その他》

「ふぁーらい」とは、別  
の施設にしてほしいです。  
理由は、レストラン意外  
でも役に立つ使い方があ  
ると思うからです。



古澤 夏海さん

## 《議会傍聴の感想》

お金は無限にある訳で  
はないし、予算も決まっ  
ているから、優先順位や  
使える物は使うというこ  
となどを話し合っていま  
したが、その中で私は、  
私たちの住んでいる遠軽  
町は、議員の人たちがい

ろいろな意見を交換し、  
長い時間をかけ出来上が  
ったものでまわっている  
んだと感じました。

## 《その他》

レストランなど新しい  
建物を、できるだけ安く  
済むように考えるのはす  
ごく良いことだと思います。  
「ふぁーらい」と「だ  
けではなく、他のところ  
からも使えるものを集め  
たりして、なるべく安価  
で物をそろえられると良  
いと思います。

難しいことだと思いま  
すが、新しくなるレスト  
ランが楽しみです。よろ  
しくお願いします。



奥山 紗羅さん

## 《議会傍聴の感想》

移設の話などをしてい  
て、私に気がなっていた  
ことを話していたので、  
すごく勉強になりました。  
多くのやり取りの中で、  
たくさんの人たちの中で  
話ができるということは  
緊張すると思うけど、発  
言などしていてすごいと  
思いました。



# 編集後記

図書館まつり2012

10月13・14日、図書館  
まつりが開催されました。  
表紙の写真は、親子で  
紙コップを使ったけん玉  
作りをしている様子です。  
本の素晴らしさは、作  
品を通して世界中の著者  
と対話ができることです。  
また、本は映像より情報  
量が少ない分、想像力が  
高まり、自分の世界が広  
がります。  
子どもの活字離れが指  
摘されていますが、親が  
自身の心に残る一冊を、  
その思い出とともに語り  
合うことで、子どもが本  
に興味を持つ大きなきっ  
かけになります。  
まずは親子で一緒に読  
書を楽しんでみてはいか  
がでしょうか。

## 広報特別委員会

- 委員長 荒井 範明
- 副委員長 奥田 稔
- 委員 阿部 君枝
- 委員 今村 則康